

インパクトレンチで
取付け10秒！

三角ステップ PAT.P

【階段開口部用手すり柵・開口部塞ぎ板】

販売・リース型式 FPT-03

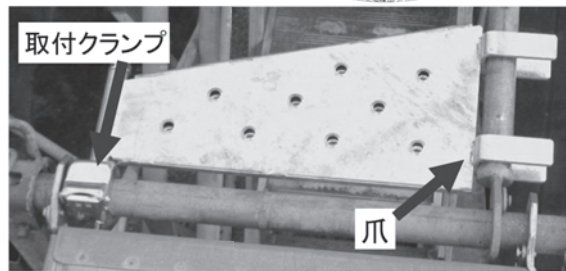
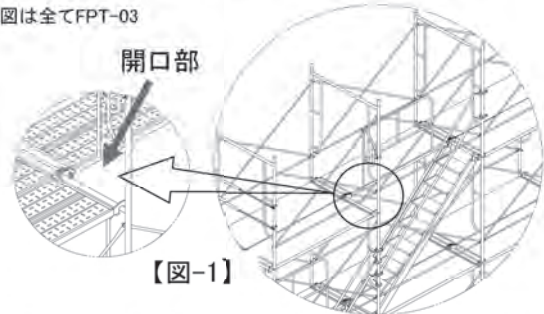
販売型式

FPT-04 ※兼用型

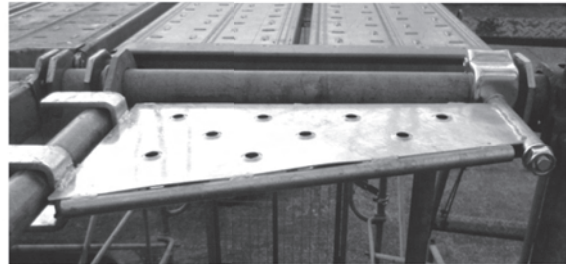
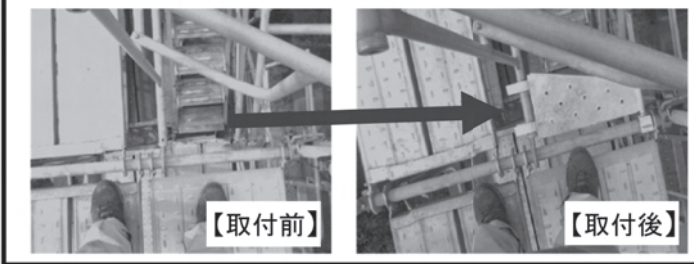
※掲載写真・図は全てFPT-03

開発経緯

枠組足場の階段開口部に設置する墜落防止用の手すり柵（弊社製品名：ステップガード）を設置した場合、【図-1】のように三角形の隙間が発生し、安全性を損なう恐れがあります。そこで、隙間を塞ぐ製品を考案致しました。



※取付クランプが自在の為、工具を使わずに左右どちらの隙間にも対応可能。



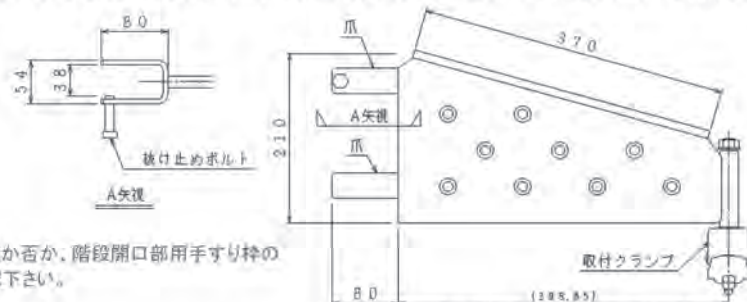
特徴

1. 階段の昇降時に極力邪魔にならない形状になっています。万が一の場合に備えて先端は丸い形状になっています。
2. 取付クランプが自在の為、工具を使わずに左右どちらの隙間にも対応が可能です。
3. 取付時、建柵やステップガードに穴開けや溶接といった改造は不要です。状況に応じた取外しが容易に行えます。（三角ステップに該当する認定基準は2017年11月現在ありませんが、使用基準は設けられています。）
4. 製品自重は約2.8kg/個と軽量ですので取扱いも楽です。

使用上の注意

1. 爪はステップガードの棧に深く差し込み、十分なかかり代を確保して下さい。
2. クランプを付ける位置に踏板のつかみ金具がある場合、踏板をずらして下さい。
3. 取り外しの時、インパクトレンチで強くクランプのナットを緩めると、ナットの抜け止めが外れる場合があります。
4. 抜け止めのボルトは必ず締めて下さい。締めないとステップガードから外れる恐れがあります。
5. 三角ステップ本体は軽量化を図る為、薄めの材料を使用しています。放り投げる等の取扱いは行わないで下さい。
6. 三角ステップは、隙間を塞ぎ開口から足が落ちるのを防止する為の製品です。荷置きや作業床とする過度な積載は想定していませんので、許容荷重に注意して下さい。【許容荷重：1225N（125kg）】

※ 階段開口部用手すり柵の形状によって、爪が挟み込めない場合があります。その場合、FPT-04(兼用型)であれば取付け可能になる場合がありますので、ご購入前に弊社までご相談下さい。【販売品のみ対応】



※ 挟み込み可能か否か、階段開口部用手すり柵の形状をご確認下さい。

↑ 兼用型は片側の爪の寸法が 60mm になります。

組立手順 ※現場における取付け易さを徹底的に追及致しました。下から取付けられるようになっています。



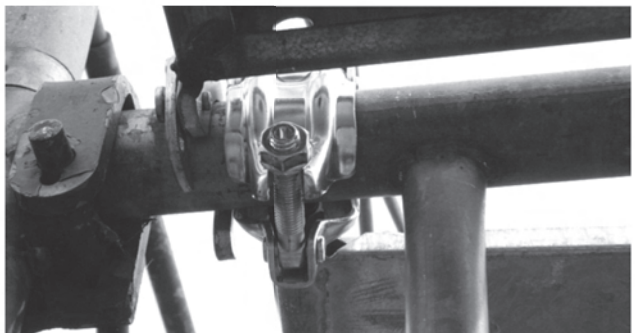
1.爪をステップガードの棧に差し込んで下さい。



！注意！爪は棧に深く差し込んで下さい。



2.クランプを建枠の横架材に上からかぶせて下さい。
この時、クランプの位置は建枠の補剛材と踏板のつかみ金具の間として下さい。



3.三角ステップ本体の先端を軽く支え、クランプをインパクトレンチで締める。



4.最後に抜け止めのボルトを締めて完了。勝手違いの時にはボルトが上に向きます。
この時には階段を2ステップ程上がって、上からボルトを締めて下さい。



インパクトレンチで取付10秒！

慣れれば...